とうきょう すくわくプログラム

テーマ：リズム ダンス

1 テーマ

リズム
ダンス

2 テーマの設定理由

本園では「健康教育」を特色とし、子どもたちが実際に体験しながら学ぶ「体験教育」を大切にしています。
そこで、とうきょう すくわくプログラムのテーマを「ダンス」に設定しました。
ダンスは、音楽に合わせて体を動かす楽しさを味わいながら、リズム感や表現力、バランス感覚を育むことができます。また、友達と一緒に活動することで、協調性やコミュニケーション力も養われます。
子どもたち一人ひとりが自分らしく表現し、楽しみながら心と体を育めるよう取り組んでまいります。

3 活動スケジュール（全18回）

5月	8日、15日
6月	5日、26日
7月	1日、17日
8月	28日
9月	4日、11日
10月	20日、30日
11月	20日、27日
12月	4日、15日
2月	19日
3月	5日、2日

4 活動の様子と成果

■ 探究活動の内容

講師によるリズムダンスや音楽に合わせた表現遊びに取り組みました。身体全体を使った動きや模倣遊び、音楽に合わせたステップなどを楽しみながら経験しました。

■ 活動中の子どもの姿・声

「もう一回やりたい」「楽しかった」「りかちゃん先生とダンスができて楽しかった」「バスに乗るのが楽しかった」などの声が聞かれました。
回を重ねるごとに、音楽に合わせて身体を動かしたり、歌を口ずさんだりする姿が見られるようになりました。
友達と関わりながら活動を楽しむ様子も見られました。

■ 保育者のかかわり

子どもたちが安心して参加できるよう、一緒に身体を動かしながら活動を見守りました。
また、活動で経験した動きを日常の遊びの中にも取り入れられるよう、保育室で音楽を流したり、自由に踊れる環境を整えたりしました。

■ 活動の成果・実績

ダンスへの興味や関心が高まり、自ら踊る子どもが増えました。講師の動きを真似しながら楽しんで身体を動かす姿や、友達と一緒に表現する姿が多く見られるようになりました。
保育室でも音楽が流れると自然に身体を動かしたり、活動で覚えた動きを遊びの中で再現したりするなど、日常生活の中へ活動が広がっていきました。楽しみながら表現する経験を重ねることで、身体を動かすことへの自信や意欲が育まれました。
思わぬ子どもが興味を持ったり得意であったり、新しい一面が見られました。
音楽なしでも子ども同士でしゅうまいじゃんけんをして遊ぶようになりました。

5 振り返り（保育者の気づき）

- ダンスを通して、幼少期に身に付けたい36の基本動作をリズムに乗って取り入れていける素晴らしさが実感できた。
- 子どもの「楽しい」「またやりたい」「もっと踊りたい」がたくさん引き出せた。
- 思わぬ子どもが興味を持ったり、得意であったり、新しい一面が見られた。
- 音楽なしでも子ども同士でしゅうまいじゃんけんをして遊ぶようになった。
- 柔軟性や表現力には年齢差がとてもはっきり見られた。